

ペプチダーゼ

1. 食品添加物名

ペプチダーゼ (Peptidase)

2. 基原・製法・本質

糸状菌 (*Aspergillus niger*, *Aspergillus oryzae*, *Aspergillus sojae*, *Rhizopus oryzae*)若しくは細菌 (*Bacillus*, *Lactococcus lactis*)の培養液より、冷時～室温時水で抽出して得られたもの、除菌したもの、若しくはこれより、冷時エタノールで処理して得られたもの、又は培養液を固液分離、濃縮、ろ過して得られたものである。

3. 主な用途

酵素

4. 安全性試験成績の概要

(1) 反復投与試験

*Rhizopus oryzae*由来のペプチダーゼ (135,000unit/g)を用いたSDラットの強制経口 (500、1,000、2,000mg/kg)投与による90日間の反復投与試験において、2,000mg/kg投与群の雄で体重増加抑制、摂餌量及び摂水量の減少、尿量減少並びにそれらに伴う尿浸透圧、尿クレアチニンの上昇が認められている。無毒性量は1,000mg/kg/dayと考えられる¹⁾。

(2) 変異原性試験

*Rhizopus oryzae*由来のペプチダーゼ (135,000unit/g)のマウスを用いた小核試験の結果は陰性と判断される^{2), 3)}。

(引用文献)

1. *Rhizopus oryzae*産生ペプチダーゼRの安全性試験、ラットを用いた90日間反復経口投与毒性試験、1990.10, 社内データ (未公表)

2. ペプチダーゼR 試験方法

3. *Rhizopus oryzae* No.3545 産生ペプチダーゼ R の安全性試験 (V), マウスを用いた小核試験、1990.10, 社内データ (未公表)